



2018年12月18日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック  
代表者名 代表取締役社長 福永 健司  
(コード番号 2342 東証マザーズ)  
問合せ先 取 締 役 船 橋 泰  
(電話番号 03-6551-2601)

大腸がん転移に關与する Trio リン酸化抗体の  
京ダイアグノスティクス株式会社との販売契約締結のお知らせ

株式会社トランスジェニック（代表取締役社長：福永健司、福岡市）は、このたび京都大学発ベンチャーの京ダイアグノスティクス株式会社（代表取締役社長 隅田 劍生、京都市、以下京ダイアグノスティクス）と、同社が開発した大腸がん<sup>※1</sup>転移に關与するリン酸化 Trio を認識する抗体について、本日、販売契約を締結しましたのでお知らせいたします。

本契約締結により、当社は当該 Trio リン酸化抗体を研究用試薬として2019年2月より販売開始する予定です。

当社は、汎用性のある抗体製品の開発や抗体製品の導入、製品販売に積極的に取り組んでおり、このたびの販売契約締結はその一環です。

Trio リン酸化は、がん細胞の運動を促進するため、がん転移のマーカーになることが期待されており、実際、摘出された大腸がんにおける Trio リン酸化が予後と相関することが報告されています。当該 Trio リン酸化抗体は免疫組織化学染色法<sup>※2</sup>により腫瘍細胞中の Trio のリン酸化を検出することが可能で、大腸がんにおける予後予測の研究に貢献することが期待されます。

なお、販売開始は2019年2月の予定であることから、本件による2019年3月期の業績への影響は軽微ですが、抗体製品ラインナップの拡充により、積極的に業績拡大につなげてまいります。

◆ご参考

※1 大腸がん

大腸がんは、結腸・直腸・肛門で構成される大腸に発生するがんです。新たに診断される人は1年間に10万にあたり103人で、部位別死亡原因で第3位（国立がん研究センターがん情報サービス「人口動態統計によるがん死亡データ」2017年）です。

※2 免疫組織化学染色法

免疫組織化学染色法は、抗体の特異性を用いて組織内の抗原を検出し可視化する手法です。

<参考文献>

Sonoshita M., *et al.* Promotion of Colorectal Cancer Invasion and Metastasis through Activation of NOTCH-DAB1-ABL-RHOGEF Protein TRIO. *Cancer Discovery* 2014 5: 198-211.

Sonoshita M., *et al.* Suppression of Colon Cancer Metastasis by Aes through Inhibition of Notch Signaling. *Cancer Cell* 2011 19: 125-137.

以上